

日本一の  争う前橋で
エアコンを使わない住宅があった！



前橋にあるH邸とご夫婦

群馬県前橋市の外れ、田畑が広がる地域にある御家族3人暮らしのH邸。
新築後約6年経過していますが、このH邸ではエアコンを使った事がない！
いえ、エアコン自体が無いのです！。

前橋ですよ・・・！。

2001年7月24日に40℃※の最高気温を記録した前橋ですよ！

今回は道産子の私にとって“ありえない！”このH邸を訪問しました。

※気象庁データによる

建物の仕様は、1階平屋建て、屋根断熱、床断熱、二重サッシにより熱を中に入れないという至極当然の高気密高断熱仕様ですが、何よりも室内の湿度が低い！

それにより室内が涼しく感じられ、2005年の新築時にはエアコンを設置する予定だったそうですが、「着けなくても涼しい！」と云う事で、エアコンを設置しなかったそうです。そして、そのまま現在にまで至っています。

湿度が低い！といいますが、実はこの建物、3方が水田に囲まれており、湿度環境については最悪な環境なのです。

ご覧下さい・・・



左側より望む



右側より望む

撮影時の5月下旬では秋蒔き小麦が収穫直前。

この後、水を張り、稲を植える水田へ換わります。



空から見ると、まるで長崎の出島の様に水田の中へ突き出っていて、三方水田に囲まれています。水田に水を張ると、水田から湿気がどんどん供給されて、蒸し暑さの原因になります。梅雨時なんか最悪です。

(写真 グーグルアース)

湿度が低く、過ごし易いわけ！

H御夫妻がこの家を建てる時、三方が水田に囲まれている事から土間コンクリートを打設しているとは言っても床下への湿害の発生が心配された為に、知人から床下に稚内珪藻床下調湿・消臭材の「豊ドライ」を入れることを奨められたそうです。

そうした処、床下だけが心配だったのにも拘らず、蒸し暑い真夏の時ですえ室内全体の湿度が低く、快適に過ごされているそうです。

来客の方達も驚かれるそうです。

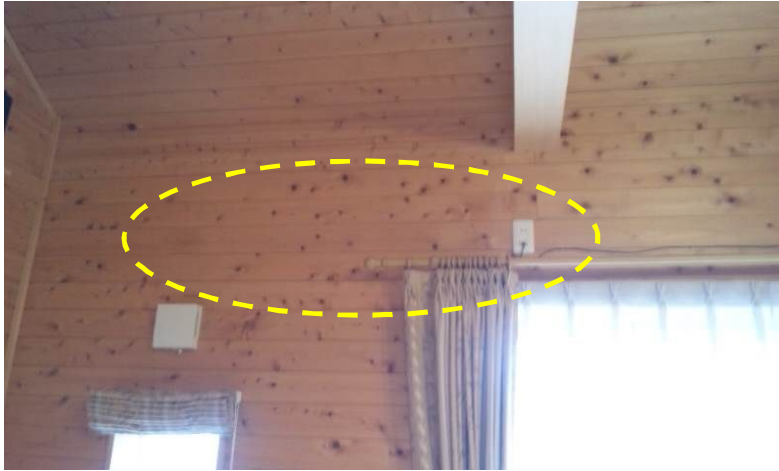
同じ工務店で同じ断熱仕様のお知り合いの家では、床下に「豊ドライ」は施工されて無く、エアコンがフル稼働。(それでも暑いとか・・・)



豊ドライが敷詰められた床下！



床下点検口を開くと、なんと、害虫が干からびて死んでいました！



エアコンを設置する
予定だった場所！
本当に無い・・・！
電源用のコンセント
が寂しそうにあるだ
け・・・。

☆訪問者後書き

H邸に訪問したのは5月28日。

ちょうど前日に台風の影響で早めに入梅となり、これから道産子の私にとって嫌いなジメジメ君の季節となった時でした。

この日は、気温的にそれほど暑い日ではなく若干蒸していましたが、中にお邪魔した時、玄関から入ると室内の空気が“変わった！”と感じました。

水田地域での梅雨・・・まるで見えないコートを着ている様なうざったさ・・・。

そんな環境の中で、断熱仕様による影響はもちろんですが、湿度を下げるだけでエアコンが無くても快適に暮らせる。その湿度を下げる為のエネルギーが不要な自然素材である「豊ドライ」の力を、製造販売してる私も改めて実感した日となりました。

今年は震災の影響で節電が叫ばれています。

我慢による節電ではなく、自然素材の力を利用して、エアコンを使う必要が無いという節電は如何でしょうか！

☆訪問者 鈴木産業株式会社 開発業務部長 鈴木和徳

訪問日：平成23年5月28日

※涼しさや、快適さは、個人の感覚により異なる場合があります。